

令和3年
9月発行
第4号

ヴィオラの音色が

ティケアに響く

7月某日 テイケア室にウイオテの音 ★ヒンサート後のある変化とは?

色が響き渡りました。美しく心を一瞬で演奏終了後、自分を守るために閉ざつかまれる低音は室内の雰囲気を一変ししていると思われるメンバーさんが力してくれました。演奏者は筒井先生。ヴィオラオケを歌いました。「歌つてみようかオラが得意という情報をデイケアの外部な」とモニシング娘を歌い始めたので交渉担当スタッフが聞きつけ、デイケアです。そのメンバーさんに何が起きたので演奏してほしいと直接依頼。筒井先生でしよう? ヴィオラの音色が新しく何は快諾して下さり、この演奏会が実現しかをする力を与えてくれたのかなあ。たのです。

卷之三

奏。失礼。クラシックに造詣が深くない「何か」は動き始めたのは確かです。もので大変無礼を申してしまいました。見えにくいけれど、メンバーさんの心でした。曲目はバッハ作曲「無伴奏チェロ組曲第1番」でした。ヴィオラという楽器を見たことも初めて、もちろん音色を聞くのも初めて…という方が多く、メンバーさんもスタッフも興奮気味でした。本当にありがとうございます。

せみ 蟬より小さく、蟻より遅く～ケアのあり方の葛藤～

夏の暑い日。個別活動の時間で病院の庭を散歩しました。散歩希望の方は（意外と思いますが）、毎日必ずいらっしゃいます。木々の緑の深さ、青空と入道雲のコントラストなどをメンバーさんと一緒に感じながら歩きます。歩くスピードもそれぞれ。歩く場所もそれぞれ。日向の中を頑張つて歩く方、日陰をぬつて歩く方。グループの先頭を歩きたい方もいます。

蝉のばかあ。○○さんの声が聞こえなかつたではないか。世代的にTM NETWORK の「ゲットワイルド」と思われるが、意外にアイドラストなどをメンバーサンと一緒にゲット」が好きなのかもしれない。スタッフが推理している間に、○○さんとスタッフの横を働き蟻が追い越していく。こんなことつてあるのか？蟻の方が歩くスピードが早いではないか？

日記が早いではないか?

その日はマイペースに歩く方と一緒に散歩しました。とてもゆつくり歩く方で正直ちょっと戸惑つてしまつた。何か話さないと間が持たないと思い、話しかけてみる。午後のプログラムがカラオケだつたので「○○さんはどんな歌が好きですか?」と質問。蝉の鳴き声が好きですか?」と書かれていました。

(注…この話は盛りしていると思われるかもしれませんのが事実です) 約三十分の散歩(隣を一緒に歩いただけ)に収穫はあつたのか?好きな歌も聞き出せず、蝉にも蟻にも敗北。でも○○さんの日誌には、「暑くとも、散歩は気持ちいい」と書かれていました。

田川先生には毎月ディイケア

◆災害に備え考えてみる

のプログラムを受け持つて頂いています。先生はメンバーさ

んの気持ちが盛り上がるプログラムをいろいろ工夫して作つて下さいます。

★星座早見盤をつくる

7月はみんなで星座早見盤を作りました。

先生と一緒に考えてみました。

「懐中電灯の上に水を入れたペットボトルを置くと広範囲を明るくできる」「ツナ缶の油で1時間くらいは火が灯せる」

作りました。みなさんも学生時代に作成した経験があるので

はないでしょうか?日付を合

わせるとその日の夜空の星々

がわかるというものです。下準

備は先生が済ませて下さって

いて(先生忙しいのにすいませ

ん)、枠をハサミで切つて貼り

付けて完成。メンバーさんは日

付を合わせて「この星座聞いた

ことがあります」と嬉しそう。

「早見盤を見て夜空を見上げてみよ

うと思います」という方もいれ

ば「机の上に早見盤を置いて、

夜空を見下ろしたらこんな風

なんだなと思いました」という

方も。おお。見上げたり、見下

の美しさに感動し、時には自然

ろしたり、みんな違うなあ。星

の怖さを痛感し、工夫し対処し

座盤を見て世界を見下ろすな

て下さる。生活する上で大切なこ

県内の感染症警戒度4&まん延

防止等重点措置/緊急事態宣言適用に伴い、当院のディイケアは八月十八日(予定)まで、参加人

数を制限して開所しています。

メンバーさんは仕事が休みの日

にディイケアに来る方、作業所と両立している方、ディイケアのみ通所している方などさまざまです。毎日通所

している方は特に生活が大きく変化することになります。人数制限を

お伝えしたときには、プログラムに取り組む雰囲気ではなく、動搖が走りました。「自分は何曜日に来ればいいの?」「もしかして閉鎖になることもあるの?」「○○さんと一緒に曜日にしてほしい」「昼食代の捻出がきついから何とかして」等々:

スタッフへの質問攻めが止まりませんでした。ディイケアに通所する日

■ミニディイケアになつてみて…

今まであまり意見を言うことのなかつた方が手を挙げて発言する

場面を見るようになりました。人

数が多いとみんなに押されてしまつていたのかも…。掃除も今まで

以上にみんなで協力しないといけないし、団結力の必要性も感じています。ミニ体制での収穫を今後

に活かせたらいいなと思います。

～感染症対応から見えるメンバーさんの繊細さ～

編 集 後 記

感染症の影響で、ディイケアでも支援の

体制を変えなくてはならず、心苦しいで

す。実は予定されていた夏フェスなどの

イベントも延期となり、私自身はかなり

数が少なくなることを悲しむメンバーを見て、ディイケアの存在意義を感じる一方で、変化に脆弱なメンバーさんの姿も目の当たりにしました。長く通所されている方ほど、この変化に戸惑い「先が見えない」「中途半端に来るのは余計に生活が乱れるんですよ」と行き場のない怒りをぶつけてくる方もいたのです。

メンバーさんは仕事が休みの日にディイケアに来る方、作業所と両立している方、ディイケアのみ通所している方などさまざまです。毎日通所している方は特に生活が大きく変化することになります。人数制限をお伝えしたときには、プログラムに取り組む雰囲気ではなく、動搖が走りました。「自分は何曜日に来ればいいの?」「もしかして閉鎖になることがあるの?」「○○さんと一緒に曜日にしてほしい」「昼食代の捻出がきついから何とかして」等々:スタッフへの質問攻めが止まりませんでした。ディイケアに通所する日

やりましょう」と言って下さいました。多くの方が励まして下さり、気持ちを切り替えるための力を下さります。制限が続く窮屈なことも多いですが、メンバーさんと一緒に乗り越えたいです。